

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:税法)

(法学研究科)
2024 年 9 月 7 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題 1・問題 2 とも解答せよ

【問 題 1】

法人の課税所得計算における、いわゆる「確定決算主義」について検討しなさい。

【問 題 2】

X (夫、医師) は、平成元年に A (妻、専業主婦) と結婚したが、この度離婚することになり協議が成立した。離婚に伴う財産分与として、X が 20 年前に取得し、婚姻期間中住んでいた居住用不動産を A 名義に変更する予定である。(この居住用不動産には値上り益があるものとする。)

この場合、X・A 各々についてどのような課税問題が生じるか、理由を含め関連する判例に言及の上、検討しなさい。

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:政治学)

2024 年 9 月 7 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の中から 2 つを選び、政治学における先行研究の概要を示しながら論じなさい。

※ それぞれの解答文の左上に番号（丸囲み数字）を書き、選択した項目がわかるようにすること。

- ①権力 ②議会 ③選挙 ④政党 ⑤ナショナリズム

問題用紙 1 枚、 解答用紙 2 枚、 「罫線横書き（文字数を指定しない）」

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:国際政治学)

2024 年 9 月 7 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の 3 つの問いの中から 2 つを選択して、それぞれ詳しく論じなさい。

①ウェストファリア体制

②第二次世界大戦の起源

③冷戦終結の要因

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(法学研究科)

2024 年 9 月 7 日 (土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典: The Mainichi, Editorial, May 28, 2024)

【引用部分は削除しています】